

秦秀雄 （大） 古美術鑑定家。明治二十一年福井縣生れ。昭和五十五年十一月一日歿（八六八一九八〇）。號櫻園明。中學校教員を経て、昭和六年小野賢一郎（俳號無字）経営の雑誌『茶の心』記者、次で北大路魯山人主宰の『星岡茶寮藏寶』となり、翌年『星岡』編輯に従事。井伏鱒一作『珍邸主人』のモデルと曰ふ。

著書『星岡隨筆』（中村竹四郎合著、昭和十一年十一月二十日新英社）、『お茶の心の眼—やぎとの見方』（昭和二十六年十一月二十日徳間書店「リビング・ライブラリー」）、『名古屋訪問—生活の中の古美術鑑賞』（昭和二十七年四月一日徳間書店「リビング・ライブラリー」）、『珍邸藏寶の旅（埋れてゐる地方の名品）』（昭和二十八年十一月二十日徳間書店「リビング・ライブラリー」）、『日本人の心情—美と醜の感受性』（合著・芸術生活編集部編、昭和四十五年八月二十日芸術生活社「芸生新書」）、『見捨てがたきもの—身辺の雑器』（昭和四十六年五月二十日文化出版局）、『骨董入門（鑑賞）』、収録・鑑定（『昭和四十七年八月五日池田書店「イケダラブックス」）、『追想の魯山人』（昭和五十二年十二月十五日書房）、『珍品鑑賞』（昭和五十四年四月二十日五月書房「名作シリーズ」）等。

